

成果の説明書

(氏名) 唐澤達之	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 科学研究費助成事業基盤研究 (C)「近世ロンドンの給水事業に関する研究」(研究代表者:唐澤達之)による研究</p> <p>2017年度より3年間、標記研究課題で科学研究費助成事業に採択された。この研究の成果の一部を、2017年5月に早稲田大学で開催されたイギリス中世史研究会において「近世ロンドンにおける給水システムの転換」として報告した。また、8月末から9月初にかけて、ロンドン・メトロポリタン・アーカイヴズ London Metropolitan Archives において、中世・近世ロンドンの給水事業に関連する史料の収集を行った。</p> <p>(2) 科学研究費助成事業基盤研究 (A)「近代移行期の港市と内陸後背地の関係に見る自然・世界・社会観の変容」(研究代表者:弘末雅士、立教大学文学部)への参加</p> <p>2014年度より交付を受けている標記共同研究に研究分担者として参加した。2017年度は研究期間の最終年度にあたり、その成果として刊行された弘末雅士編『海と陸の織りなす世界史 港市と内陸社会』(春風社、2018年3月)の第9章「近世ロンドンと内陸後背地」を執筆した。</p> <p>(3) 2017年度研究奨励費「基礎教育に関する研究」による研究(代表:唐澤達之)</p> <p>2017年度の本学の重点研究の課題として設定された標記研究の代表者として、研究会を組織した。基礎教育に関する既存の研究成果を整理するとともに、国公私立の9大学における基礎教育・教養教育改革の最新の取り組みについて訪問調査し、本学における基礎教育の一元化に向けた組織及びカリキュラム改革にとって有用な知見を得るとともに、その方向性について議論を行った。</p> <p>(4) 学会における活動</p> <p>比較都市史研究会の幹事として、例会の企画運営、会誌『比較都市史研究』の編集発行(年2回)、会計の管理などに関わった。</p> <p>(5) 地域貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高経ラジオゼミナール」において、「経済史研究の変遷」(2017年11月3日放送)と「中近世ロンドンの給水事業」(2017年11月10日放送)をテーマに話した。 ・地域科学研究所主催の第34回高崎経済大学公開講座「現代社会への多面的アプローチ」において、「ロンドン まちづくりの歴史」と題した講演を行った。 <p>(6) 大学行政関連業務</p> <p>副学長として、学内の種々の委員会を主宰し、全学的な観点から本学の改革・発展の推進に関わった。2017年度は本学の創立60周年にあたり、記念事業の実施に携わった。高校訪問、後援会と同窓会の地方支部における広報活動を行った。学部レベルでは、入試課題検討委員会の委員として入試改革に関わった。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 研究関連では、「1. 重要事項」(1)の研究をさらに進め、成果を発表することが大きな課題である。また、「1. 重要事項」(3)の成果を取りまとめ、本学における基礎教育の一元化への取り組みに生かしていくことが課題である。</p> <p>(2) 大学行政関連では、副学長として、第2期中期計画(2017年度～2022年度)の実施、認証評価により指摘された諸課題への対応など、全学的な観点から本学の改革・発展を推進することが大きな課題となる。</p>	